

問

ふるさと納税のこれからの考えは

町長

すべての課で問題を協議していく

訓子府町の特産品

問 訓子府の特産品としてどのようなものがあり、ふるさと納税での取り扱いは。

町長 特産品としてメロンや玉ねぎ、じゃがいもなどの農産物や味噌やうどんなど多くの加工品がある。

ふるさと納税の基準に適合する商品などの事業者の方に声をかけ、

返礼品としての登録を増やしてきた。

問 ホームページやパンフレットに掲載されているものは一部の特産品だけだが、理由は。

町長 従来は、多くの方が認知しているものだが、今後は多くの特産品を掲載していく。

問 新たな加工品を開発するため、資金や食品加工技術センターを紹介するなどの支援は。

町長 相談があれば、技術センターにつながるなど情報提供はできる。

また、掛かる費用によつては地域活性化チャレンジ事業の50万円で十分なのか、今後検討していきたい。

津野町と特産品交流

問 姉妹町などの特産品交流は。

町長 農産品を中心に取り組み、イベントに合わせ農商工業者の方々を派遣する手法で進めてきた。

令和4年度は、物産品の販売を目的に商工会が津野町産業祭に参加。次年度以降も商工会の継続的な取り組みに期待している。

企業版ふるさと納税

問 企業版ふるさと納税の現状は。

町長 令和4年5月に内閣府に地域再生計画を提出し、7月に認定。9月から寄付の受付を開始し、5社580万円の寄付をいただいた。

問 数多くある自治体から訓子府町を見つけてもらう戦略は。

町長 ホームページや関係企業に案内や、ふるさと応援セミナー情報交換会にて、企業との

懇談会に参加しており、数社から問い合わせもいただいている。

ふるさと納税の現状

問 ふるさとおもいやり寄付金の現状は。

町長 今年度においては、物価高騰による返礼品の値上げや、6月から8月の豪雨被害により、収穫量の見込みが不透明だったことから、返礼品出荷を一時中断したことが影響し、寄付額が伸び悩んでいる。

ふるさと納税の課題

問 ふるさと納税の本町における課題は。

町長 関係課は知っているが、全体での協議をしたことがない。

ふるさと納税サイトや返礼品の品目の問題をすべての課で協議できる状況をつくり、専門の職員を配置するなど他の自治体を学んでいかなければならない。職員一人一人が伝言マンになる時代だと考えている。

このほかに「訓子府高校の振興策について」の質問をしました。



たにぐち たけひこ 谷口 武彦 議員

もうすぐ春
聞こえてほしい♪
あなたにもガンバレ!



多種多様な訓子府町の特産品



谷口議員の一般質問を視聴できます